

志野医師からのひと言：肥満の治療(薬物療法)

肥満の治療には食事療法と運動療法が何より重要です。

しかし、成人の肥満度を示す BMI で 35 以上の高度肥満の方などには、医学的に肥満治療薬を投与することがあります。

抗肥満薬にはその作用の仕方で以下の3種類があるといわれています。①食欲を抑える薬 ②脂肪などの吸収を抑える薬 ③エネルギー消費を促す薬 です。①はわが国で保険適応のある薬ですが、対象症例を正しく判断しなければなりませんし、副作用もあり、耐性ができるため長期間の使用はできません。またそれとは別に糖尿病薬の一種で、食欲を抑える作用がある薬もありますが、糖尿病のある肥満の方でないと投与できません。②は残念ながら保険適応がありません。さらに③は開発途上といわれています。

いずれにせよダイエット目的の肥満治療薬ではありませんので、結局地道に食事療法、運動療法を続けることが必要です。

(栄養に関してのお問い合わせは、栄養科または外科外来にご連絡ください。)

